

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 4年 2月 24日

事業所名:子ども発達支援センターこぶし園

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	1	・主に2階で活動しているが、曜日によっては1、2階に分かれて活動している。 ・訓練室、遊戯室、台所、1階の使用などで分けている。 ・各部屋で活動を分けるなどしている。	
	2	職員の配置数は適切である	11	0	0	・規定以上の職員を配置している。 ・正規、アルバイト、パートで人員がまんべんなく配置できている。 ・長期休暇の昼休憩時間は手薄になりやすい。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	3	2	・せっかくエレベーターがあるのに活用出来ていない。 ・玄関の段差、床と靴脱ぎ場に段差がある。	・段差を解消するためのステップ等を付ける必要性の有無を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	4	・放課後等デイサービス職員のみで支援の統一や支援の改善のために週に3回話し合いの場を設けている。 ・放課後等デイサービス全職員(非常勤も含む)が集まり週3回昼の会を実施し、対処している。 ・朝礼だけでなく、昼にも行い改善点や支援の統一を行っている。	・非常勤職員等、個別支援計画の作成にあまり携われていない職員もいるので、職員の昼の会で共有していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	1	・職員会議で取り上げ改善につなげている。 ・今後もつなげていく。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	2	・担当職員が行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7	3		・法人全体の問題として今後検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	0	・研修担当者を置き、県から来る研修案内は目を通し、順次受講している。 ・県の研修、個人的に自閉症eサービス等の研修に参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	2		

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	3	・事業所独自のアセスメントシートがある。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	3	・主に担当職員が立案し、チームで検討している。 ・長期休暇の活動はほとんど1人の職員が行っている。グループの活動は主に主担当が行っている。 ・部会を開き、シュミュレーションなども行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	3	・子どもに応じて活動を考えている。	・引き続き状況に応じた活動プログラムを工夫していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	2	・平日に関しては送迎等で人員が揃わず細やかに支援出来ているとは言えない。	・職員間で検討し、支援の質の向上に努めたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	2	・グルーピングし、それぞれに対応している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3	1	・週3回昼の会を設け、話せる場など積極的に作っている。 ・昼の会で行っている。 ・前日など別日で打ち合わせをすることもある。 ・打ち合わせは行えていないが、役割分担は視覚的に分かるよう提示している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	5	2	・週に3回の話し合いの場で行っている。毎日行えていない。 ・昼の会で行っている。 ・終了後には行えていないが、後日確認するようにしている。 ・勤務時間が異なることもあり、翌日などに話すことが多い。 ・次の日以降に振り返りの時間をとっている。 ・必ずというか、その都度、気付いた点などはなるべくその場で指摘、共有できるように努めている。	・時差出勤のため、全職員で支援終了後に支援の振り返り等をすることはできないが、職員が集まりやすい朝礼や昼の会、伝言板等で支援の振り返り等を今後行っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	2	・記録用紙の管理を徹底し、振り返りを行っている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1	4	・必要性を実感しているが、実際に全員分を完璧には出来ていない。	・今後も検討していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	1	3	・特に長期休暇にはたくさん盛り込んでいる。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	2	・担当職員が出席している。 ・基本的にその児の担当者が出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	2	・主にお迎えの時に確認している。 ・年度初めには各学校に挨拶へ行き連携をお願いした。 ・一部の学校は協力を得ることでスムーズであるが地道に学校を廻り理解を深めている。 ・適切に行いたい、情報を共有する意識に乏しい学校があり、こちらが苦労している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	8	・今のところ、医療的ケアの必要な子は受け入れていない。 ・医療的ケアが必要な児童はいない。 ・今現在でその様な児はいないが薬の服用、座薬の注入などはあればきちんと連絡体制を整えて行ってきた。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0	3	・こぶし園の児童発達支援を利用しているお子さんがいたので、移行前に放課後等デイサービスの職員が個別療育の見学に行った。 ・同じ施設内の児童発達支援に通われていた場合は行っている。 ・努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1	3	・同じ法人の事業所に就労される場合は行っている。 ・全部の事業所に提供出来ているとは言えない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	3	・国や県の研修などに定期的に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	9	2	・保護者のニーズが薄いことから機会を積極的には設けていない。	・新型コロナウイルス感染症対策のため、実施は予定していないが、今後の検討課題である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	1	3	・参加が可能な職員は、なるべく参加するように心がけている。 ・日程の都合が合わず、参加できていない。	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	1	・お迎えの時に伝えている。 ・お迎え時などに伝え合っている(面談も年2回実施)		

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・年2階の面談でまたは必要に応じて行っている。 ・ペアレント・トレーニング等は行っていない。 ・今後、必要だと感じている保護者が数名いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に年2回の面談やお迎えの時に、保護者と連携して、保護者の対応力の向上を図っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の面談時に、説明出来る時間を設けている。 	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行えるように努めている(悩んだ時には、先輩や上司に助言を求めている) 	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の家族会があったが、コロナ禍で行っていない。 ・コロナ禍により保護者会開催が難しい。 ・去年、今年はコロナ禍の影響により支援出来ない。 ・現在コロナ禍により実施できず。 ・グループ療育の保護者向けにグループワークを年に1回程度行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、家族会等の行事を行わなかった。 ・今後、感染状況を見ながら開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に対応してきたつもりだが、職員全員、適切な対応が出来ているわけではないので、職員自身の対人スキルの向上が必須だと感じている。 	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、お便りや掲示板で写真や活動内容をお知らせしている。 ・お便り作成担当の職員を配置し、定期的に配布している。 	
	35	個人情報に十分注意している	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・常日頃意識して業務に当たっている。 	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なツールを用いて配慮している。 ・視覚支援を行っている。 	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	6	<ul style="list-style-type: none"> ・今年はコロナ禍の影響により、図れていない。 ・現在コロナ禍のため実施できず。 ・コロナ禍で行っていない。 ・コロナの感染予防のためイベントは現在実施していない。 ・コロナ感染症のため当分中止。 ・コロナ禍により地域住民を招くような行事開催は難しいが、地域の文化祭に出店する等、できる範囲で取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、家族会等の行事を行わなかった。 ・今後、感染状況を見ながら開催を検討していく。 ・地域の文化祭等に作品を出店することは継続していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練後は公式LINEで保護者に結果を報告している。 ・防犯マニュアル担当の職員を配置し、月に一度の何らかの訓練を行っている。 ・マニュアルの作成、周知はしたが、今後も見直し、改善はしていく予定。 ・マニュアルは避難訓練の度に修正している。 ・防犯マニュアルの方は周知されていないと思う。 	・防犯マニュアルについては周知の方法を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯マニュアル担当の職員を配置し、月に一度の何らかの訓練を行っている。 ・月1回行っている。 	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・同法人のはんだか(成人期の支援施設)と協力して虐待防止委員会を実施している。 ・虐待防止委員会を設置し、定期的に参加している。 ・職員会議の後に行っている。 	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には面談等で十分に説明を行った上で同意を得ている(計画書にも記載している) 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底している。 	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・事例が起こったら、速やかに作成し、共有している。 ・事故が起きた時の報告書は作っており、ヒヤリハット事例集として共有している。 	